



8 番  
伊藤 厳悟 議員

## 下呂温泉病院について

①交通アクセスの現状と課題。利用者の利便性を考慮したアクセスか。

### ◆経営管理部長

濃飛バスのご協力をいただき、今まで下呂駅が終点であった朝の下呂コミュニティバスを、下呂駅を経由して新しい下呂温泉病院まで運行するなど、できる限りの利用者の利便性を考慮し、運行経路や時刻を検討しました。病院を利用される方は足腰のご不自由なお年寄りが多いので、使用するバス車両は、乗り降りにやさしい低床バスを積極的に配車していただいています。

### ②医師確保と診療体制

### ◆健康医療部長

県立病院の運営には、市として直接関わる事は出来ませんが、市にとって重要な医療機関ですので連携を密にし、可能な限りの支援協力体制が取れるよう協議を進めています。

### 自然災害への対策は万全か。

全国各地で想像を絶する災害が発生しており、市内でも避難勧告の事例が生じた。

①ハザードマップの啓発・周知は総務部長

ハザードマップは、今年度までに市内全域に配布が完了し、今年の広報げろ6月号で活用について周知しています。

②自主防災組織の実態と課題、高齢者や弱者への対応は

### ◆総務部長

自主防災組織の活動やあり方は、まだ地域により温度差があります。地域では体の不自由な方やお年寄りの方など、自分一人では避難できない方もおみえになります。隣近所で声を掛け合い、一緒になって行動することが重要だと思います。

③情報伝達の実態、体制は万全か。

### ◆総務部長

市民の皆さんへの情報伝達は、まず、防災行政無線を活用しています。休日夜間でも、宿日直や警報当番が随時対応します。

### 下呂市の教育の現状

不登校児童生徒の実態と支援の現状は

### ◆教育長

不登校の実態は、国・県と比較すると非常に少ないです。不安や悩みを抱えている子がいなかの相談などを行い、早めに対応ができるよう努めています。不登校の児童生徒に対しては、スクールカウンセラーや相談員が本人とその保護者の力ワンセリングを行っています。



16 番  
二村 勝己 議員

## 戦争の記憶をとどめるために

来年は戦後70年をむかえる。尊い命を国のためにささげた兵士やその家族の思いを心にとどめ、当時のことを若い世代へ語り継いでいくことに取組んではどうか。

### ◆福祉部長

市内にある遺族会では、戦没者慰霊祭を継続的に開催され、地域において戦争の悲惨さと平和の大切さを語り継いでおられます。市では慰霊祭を実施している遺族会に対し、補助金を交付し支援しています。

### 下呂市の歌制定について

元気な下呂市づくしのために

市民の心が一つになるよう下呂市の歌を制定してはどうか。

### ◆経営管理部長

市民の一体感を導き出す手段として歌の制定は効果が期待できますが、市民憲章が制定され間もないことから、現在は市民憲章の定着が優先課題と考えています。今後検討いたします。

マイマイ蛾の異常発生、いち早い対策を

①生態系について市民に知らせたり、駆除対策を周知したかどうか。

### ◆環境部長

新聞折り込みや広報げろお知らせ版で、マイマイ蛾の生態や卵塊の駆除方法について周知しています。本年は昨年より発生が少なかったと思います。市民の皆さんが卵塊の駆除をしていただいた成果だと感謝しています。引き続き広報げろやホームページで周知していきます。

②街路灯など照明をLED化しては

### ◆総務部長

街路灯のLED化は、マイマイ蛾対策もありますが、省エネや耐久性の面からも有効で、各地で順次進められています。高価なものですので国の補助事業など活用出来るものは活用し、予算の範囲内で順次取組んでいきます。

豪雨災害発生、早期の復旧が望まれる

### ◆建設部長

8月16・17日の豪雨によって、馬瀬川沿いの河川護岸の崩壊、市道の路側崩壊が発生しました。下呂土木事務所と連携し、国の公共土木施設災害復旧工事の採択を受け、早期の復旧を目指します。



6 番

山川博己 議員

①下呂市が年間に支払っている地代家賃等の賃借料は総額いくらか。

◆総務部長

現在、一般会計、特別会計、企業会計で借りている土地・建物の賃借料は約8,314万円です。

②これらの賃借料は、今後の財政計画に重荷とならないか。

◆総務部長

賃借料は毎年掛かり、件数が多いほど財政を圧迫します。出来る限りスリム化を図り身軽になる必要があります。具体的に話を進めるには相手方がありますので十分な協議が必要です。見直しが出来るものは進めていきます。

③賃借料を可視化し、削減についで市の合理化計画に加えるべきではないか。

◆総務部長

合理化計画の中に取り込むかどうかは検討の余地がありますが、何らかの形で賃借料の可視化とチェックを行います。

④職員給与の未払い問題は終結しているか。

◆総務部長

現職員の未払い問題は支払いを

完了し解決しています。退職者の未払いはこれから着手します。基本的に現職員と同様に対応します。

◆総務部長

⑤職員給与の過払い問題はどのような経過をたどっているか。

◆総務部長

過払いの対象の方全員へ説明を行い、理解を得られましたので、返還をしてもらっています。退職者についても基本的には現職員と同様に対応します。

◆総務部長

⑥2月6日付け朝日新聞記事で報道された、職員手当の不適切受給の事例はどのように処理されたのか。また、職員の処分等が行われたのか。

◆総務部長

不適切受給であったので、当該職員に返還を求め全額を回収しました。職員の処分に関しては「故意は無い」として処分の対象とはしていません。

◆総務部長

⑦人事管理・制度の理解、適材適所の人事異動、職員の処分などは平準化されているか。

◆総務部長

人事異動は、職員の希望や資格または各部署の業務量や人事評価等の資料を基に、出来る限り適材適所に配慮し、仕事の流れが途切れないよう決めていきます。職員の処分は行為が故意であったのか、影響の大きさなどを考慮し懲罰委員会での処分の程度を決定します。人事管理の徹底と人材育成に努めます。



7 番

中島博隆 議員

急傾斜対策事業の市としての取り組みは

◆建設部長

県営の急傾斜対策事業は実施されているが、市としての事業の取り組みはどうなっているのか伺う。

◆建設部長

急傾斜崩壊対策事業は、対象となる家屋の数などの条件により、県が実施主体となるものと市が実施主体になるものがあります。県が事業主体の市の負担は、5〜10%であるのに対し、市が事業主体の市の負担は3分の1が必要で、用地買収に対する補助はありません。下呂市になってから事業実績はありませんが、今後事業実施に向け採択条件の検討を行います。

◆子供の遊具の今後の対応は

◆教育部長

市で管理している公園等での子供の遊具が、最近、使用禁止になっているが今後の対応は

◆教育部長

市が管理する遊具は、年に一回安全点検を実施しています。ほとんどが設置後年数を経過して

おり、破損や劣化が著しいものばかりです。利用者の安全を第一に考え使用できないものには「使用禁止」の表示をしています。今後は新しく遊具を設置する予定はなく、修繕で対応できる場合は修繕します。利用状況を考慮し関係機関と撤去を前提に協議を進めます。

◆防災無線のあり方について

◆消防長

特に火災についての対応で、もう少し詳細に知らせてほしいが、どのように考えているのか伺う。

◆消防長

現在の火災放送の内容は、被災者の心情や、個人情報保護の観点から、細かく内容をお知らせせず、地区名までにとどめています。

◆消防長

消防団員や市職員には詳細がわかるメールを発信しています。

◆消防長

火災現場には多くの消防車両や消防団員が駆けつけ、現場付近は非常に騒然とした状況になります。消火作業や救助活動をスムーズに実施するため、関係者以外の方々が現場に駆けつけられることにより危険が及ぶこともありまます。市民メールに加入していただくことにより、多少時間は遅れまますが詳細情報が受信できます。火災関係以外にも市内での警報発令状況など、多くの情報が得られますので市民メールにご加入いただくことをお願いします。